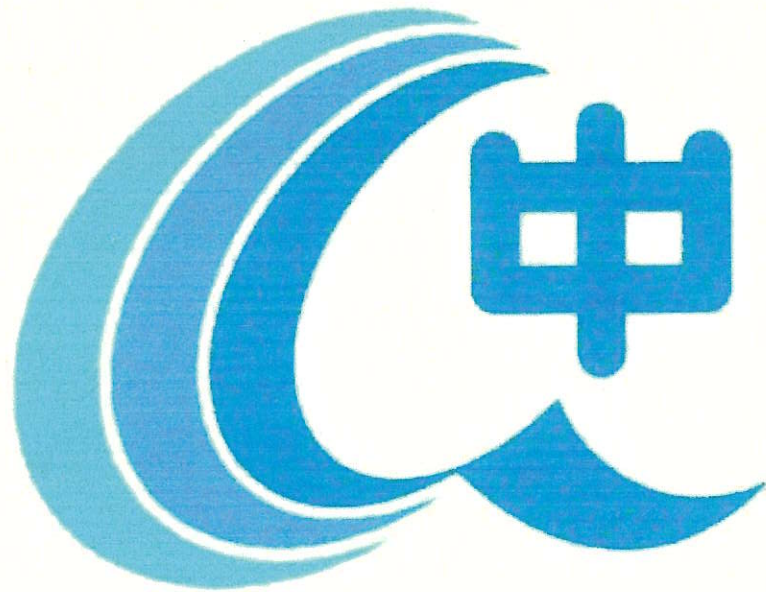


令和7年度 第3学年

第2回 進路実現に向けての資料



令和7年10月1日（水）15：15～

浦安市立明海中学校

目次

I	はじめに	P 1
II	保護者の方へのお願い	P 1
III	進路選択、進路指導について	P 1～P 2
IV	進路希望決定までの道のり	P 3
V	提出書類一覧	P 4
VI	私立高等学校について	P 5～P 9
VII	千葉県公立高等学校入学者選抜について	P 10～P 20
VIII	千葉県公立学校選抜方法の詳細	P 21～P 22
IX	具体的な志望校の受験方法例	P 23
X	調査書記載内容確認書について	P 24～P 25

I はじめに

進路決定に向けて、個人面談・教育相談（三者面談）や、具体的な手続きが始まります。「進路選択」は、生徒本人が中心ではありますが、お子様にとって適切な進路を、教員と保護者の方々がともに考え、円滑に進めていきたいと考えております。

様々な情報を的確に捉え、生徒・家庭・学校の三者で協力しながら、進路選択の準備をしていきたいと思っております。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

II 保護者の方へのお願い

1. お子様の希望や思いを大切に、進路選択をしてください。
2. ご家庭での話し合いや意見交換を十分に行ってください。
3. 高等学校受験や進路選択を特別視せず、日常生活においてやるべき事を大切にさせてください。
4. 規則正しい生活リズムを継続させてください。
5. 「最良」を目指しながら、「万が一の場合」も考えておいてください。

III. 進路選択、進路指導について

（1）進路選択について

進路選択に重要なのは、高等学校の「3年間」を充実して過ごせるかどうかだと考えております。どの学校に進学しても充実できるように、学校説明会に参加したうえで志望順位を決め、準備をしておくことがとても大事になります。

- 『3年間通う中で、自己を向上させ、夢を実現できる学校』を考える。
（目標を決めて、目標実現に向けて努力する。）
- 『自分の考え』と『周りの人達のアドバイス』を大切に決めて。
（自分自身が何をしたいかをよく考えましょう。広い視野を持つ中で、自分が納得した進路を選択しましょう。）
- 『最良』を目指しつつも、『万が一』にもしっかり対応できる進路先の選択を考える。
- 『進路決定は新たな世界へのスタート』
（学校説明会に参加して、実際に通うイメージをつくる。）

(2) 進路学習とは

中学校における「進路学習」とは、自己の将来の夢や希望の実現を目指し、学校や就職先を選択・決定していくものです。決して「学校や就職先の選択」だけではありません。むしろ、それは手段に過ぎません。「進路学習」とは、進路先を選択・決定していく過程の中で、自立心を養い、「自分の生涯をどう生きるか」を考え、そのために努力する態度を身につけることを目的とした学習です。

$$\text{進路の学習} = \left\{ \begin{array}{l} \text{生きる力を養う学習} \\ \text{自立心を養う学習} \end{array} \right.$$

ですから、卒業後新たに進んでいく道において、目的や生きがいを見つけて努力していくことが「進路学習」の成果だと思います。自分の能力や適性に応じた進路先を自分自身で選択し、その目標の実現のために精進し、達成することが大切です。

【明海中学校の進路指導が目指す理想の生徒像】

- 自分が目指す進路希望を達成するために、全力で努力できる生徒
- 現在の生活を充実させるために、一所懸命頑張れる生徒
(規律ある学校生活を送り、行事に燃え、
明るく楽しい学級・学年づくりに意欲的に取り組む生徒)
- 卒業後、新しい環境の中でも自分の生き方ができる力をもった生徒

(3) 生徒に頑張ってほしいこと

- ①自分の進路・自分の生き方を深く考え、卒業後の具体的な目標をもとう。
- ②自分の進路先を選択・決定していく過程の中で、『自立心』を養おう。
- ③目標を実現するために、「頑張る力」「努力する態度」を身につけよう。
- ④勉強とはどんなものか、なぜするのかを考え、将来につながる学力をつけよう。
- ⑤自分の決めたことを実行していく強い意志を持ち、最後まであきらめずに頑張ろう。
- ⑥共通の問題に取り組んでいる友達と友情を深め合おう。
- ⑦自分の進路について、自分自身で責任を持とう。

以上のことを踏まえて、三者面談では自分自身で希望の進路先についての選択した理由や何を頑張りたいのかなどを話せるようにしましょう。

Ⅳ 進路希望決定までの道のり

受験（受験）をするということは、その高校で3年間生活を送る可能性があるということです。自分が3年間通い続け、卒業後の自分の姿を想像して進路希望を決定しましょう。

現時点でどれくらいチェックができますか？公立高校、私立高校関係無く、セルフチェックを試みましょう。

手順、留意点	チェック欄		
	○	△	×
① どのような高校に行きたいかを考え、志望理由を明確にした。			
② 志望校の説明会に参加した。（必ず）			
③ 公立高等学校は、学校HPの選抜・評価方法を調べた。 私立高等学校は募集要項を手に入れ、校風等その学校の特色を調べた。			
④ 受験制度を確認した。 （私立高校の推薦制度等では、基準や受験の条件などを確認した。）			
⑤ 試験日を確認した。 ★複数受験する場合は重ならないように注意する。また、何校か受験する場合、何日も続くなど無理なスケジュールを組んでしまうと、心身共に疲れてしまい、自分の実力を発揮できなくなってしまうことがあるので気をつける。			
⑥ 試験科目・試験内容を確認した。			
⑦ 合格発表の日時・方法を確認した。 ★私立高等学校の延納手続きについても、確認をしておく。 （期日・延納金）			
⑧ 入学手続きの日時・方法・納入額を確認した。			
⑨ 合格の可能性を把握し、志望校全体の検討をした。 ★推薦受験等を希望する場合、推薦基準を確認する。 基準に達しなかった場合の高校も決めておく。			

○が少ない人は○を増やしていきましょう。三者面談までに進路について考え、情報を収集することで全ての項目での○を目指しましょう。

また第一志望の高校だけではなく、受験（受験）する可能性のある全ての高校について、調べる、見学することが大切です。

限られた時間の中で三者面談がスムーズに進むようにしっかり準備をしてきてください。

10月30日（木）～11月6日（木）の三者面談で、希望校とその希望順位を決定します。

V 提出書類一覧

書類名	配付（配信）日	提出（受付）期限
1、個人成績記録票（1．2年）	9月30日（火）	10月 7日（火）
2、三者面談の日程希望	9月30日（火）	10月16日（木）
3、第3回進路希望調査	10月10日（金）	10月20日（月）
4、個人成績記録票（1～3年）	三者面談時	11月回収
5、出願手続願	三者面談時	11月上旬回収
6、個人成績記録票 （3学年の成績記録含む）	11月下旬	11月下旬回収
7、個人成績記録票 （最終確認版） （各学年全出欠記録含む）	12月中旬～下旬配付	12月下旬回収

個人成績記録票について

- ① 高等学校等へ提出する「調査書」の以下のア～オ、は記載内容を保護者の方および生徒本人に確認していただくものです。
 - ア 年間成績
 - イ 出欠席の記録 （欠席の主な理由）
 - ウ 特別活動の記録 （学級活動・生徒会活動・学校行事）
 - エ 部活動の記録
 - オ 特記事項（資格や学校外での活動における表彰など）
- ② ウについては、各学年の顕著なものを載せています。各項目に文字数の制限があるため、3年間の記録を全て載せることができない場合があります。そのときは、保護者および生徒本人に精選していただくようになります。
- ③ 「個人成績記録票」へ記載するものは、2025年11月末までのものになります。
- ④ 英語検定の資格等や学校外での活動における表彰を記載する場合には、合格証書や表彰状のコピーが必要になります。これから結果が出る場合、合格次第速やかに提出してください。（個人成績記録票の配付後は速やかに提出してください。）

「出願手続願」について

- ① 三者面談を行った後に提出していただく書類です。この書類に基づいて出願書類を作成します。
 - ② 変更した場合、速やかに担任に報告をして、修正して再提出をお願いします。
- ※希望する学校はすべて記入してください。

「個人成績記録票」最終確認版について

「調査書」に記載する内容について、加筆・訂正をして改めて作成したものを最終確認していただく書類です。

Ⅵ 私立高等学校について

◎はじめに

- ・私立高等学校の受験の方法は、それぞれの高等学校によって、名称や内容が異なりますが、推薦入試と一般入試の大きく二つに分類されます。
- ・志願する可能性のある私立高等学校の2026年度（令和8年度）入試募集要項を各自で入手していただき、担任に提出して一緒に確認することになります。その際、「調査書」や「推薦書」など出願に必要なものを事前に預からせていただきます。

（１）日程について

各私立高等学校の試験日は、2026年度（令和8年度）の募集要項で確認してください。試験開始予定日は以下の通りです。

	千葉県内	東京都内
前期試験（推薦受験）	1月17日（土）～	1月22日（木）～
後期試験（一般受験）	2月15日（日）～	2月10日（火）～

（２）受験制度

受験の仕方は主なものとして、以下の3つに類別できます。

＜類別1＞「推薦」か「一般」 ＜類別2＞「単願」か「併願」 ＜類別3＞「入試相談の有無」

＜類別1＞ 中学校長の推薦による優遇があるかないか。

推薦入試	一般入試
中学校長の推薦を受けての受験ですので、選抜の上で優遇されます。 推薦受験の可否は、進路検討会議にて審議し、判断します。また、高等学校が設定する基準を満たしていることが望ましい。	誰でも受験できる制度です。要件はありませんが、優遇はありません。 試験日が重ならない限り、何校受験してもかまいません。 ただし、あまり多く受験すると本人の負担も大きくなるので、十分な検討が必要です。

＜類別2＞ 第一希望での優遇か、第二希望以下での優遇か

単願	併願
受験する私立高等学校を第一希望とし、「合格したら必ずその学校に進学する」ことを条件として受験する制度です。合格した場合には、必ずその高校へ進学しなくてはなりません。 <u>「単願」制度で受験できる高校は、一校です。</u> 一般的に、選抜の上で優遇されます。	<u>「公立高校（第一希望の私立高校）が不合格の場合は必ずその私立高校に進学する」ことを条件とする制度です。</u> 第一希望は原則として、公立高校となりますが、他の私立高校が第一希望でもよい場合もあります。また、その高校が第3希望以降でもよい場合もあり、高校によって条件は違います。 合格した場合には、延納手続きをする必要がある高校が多く、延納金が必要な場合もあります。

＜類別3＞ 入試相談とは、中学校の教員と高校との間で行う相談です。受験を希望した生徒の成績等の情報をもとに、「推薦等の制度での受験が可能かどうか」について、事前に話し合いをします。

入試相談あり	入試相談なし
12月15日以降、中学校の教員と私立高等学校の教員で、その私立高校の受験を希望している生徒について、学習成績・出欠席の状況・特別活動の状況・中学校生活の様子などを資料として、事前に話し合いをします。	入試相談がない高校は、入試当日の成績と出願書類等で可否の判定が出されます。

※希望する高校がどのような制度で実施するのかは、募集要項等で確認してください。

(3) 推薦制度について

① 推薦基準について

- 推薦基準は以下の通りです。判断については、進路検討会議において慎重かつ公平に審議し、判断します。
 - ・ その学校への入学を強く希望していること。
 - ・ きちんとした学校生活を送っており、人物が優れていること。
 - ・ 能力や適性が適していること。(一般の試験でも合格できる学力が目安となります)
 - ・ 特別活動などで顕著な実績があること。部活動、生徒会活動、学級活動等)
- 学習成績が当該私立高校の定める基準を満たしていること。
(例) 単願推薦：5教科評定15又は9教科27、併願推薦：5教科16

＜高等学校から示される推薦の基準（例）＞

- ・ 中学校の推薦を必要とする。
- ・ 日常の生活態度が良好で模範となる生徒であること。
(授業態度、基本的な生活習慣、清掃活動等)
- ・ 学習の記録(通知表)
- ・ 特別活動(部活動、生徒会活動、学級活動等)の記録。
- ・ その学校の教育方針に生徒・保護者の理解と協力が得られること。
(高校説明会の参加を推薦の条件としている高校もいくつか見られます。)
- ・ 高校へ進学しても、高校生活で頑張ることが期待できる生徒。

※推薦等の基準は、各高校によって違いますので、高校ごとに実施要項で確認してください。
※推薦とは、優れた人物を推薦することであって、合格の可能性を高める手段ではありません。

②推薦での受験方法

- ア 希望している高校の推薦基準に達しており、進路検討会議で承認された生徒は、中学校長の推薦を受けることができます。
 - イ 入試相談（12月）において、高校の先生に、「推薦」という制度での受験ができるかどうかの判断をしてもらいます。
 - ウ 「推薦」という制度での受験が承認された生徒は、その連絡を受け、推薦入試の受験資格が得られたことを確認します。
- ※推薦制度での受験ができるからといって、100%合格が約束されるわけではありません。

（４）一般入試について

優利性はないが、制限もないフリーの受験です。しかし、一般入試でも、第1希望ならば加点をするという高等学校もあります。また、一般入試受験者も「入試相談」の対象とし、合格の可能性を高めるという優利になる受験制度を取り入れているところもあります。さらに、一般入試の中に、一般併願という形を取り入れている学校もあります。

「入試相談の予約」は12月1日（月）から始まり、「入試相談」は12月15日（月）からとなり、期間が決められています。そのため、「入試相談」を利用する場合、「出願手続願」の提出時には、受験する全ての学校と、その志望順位を決めておかねばなりません。

（５）「延納手続き」について

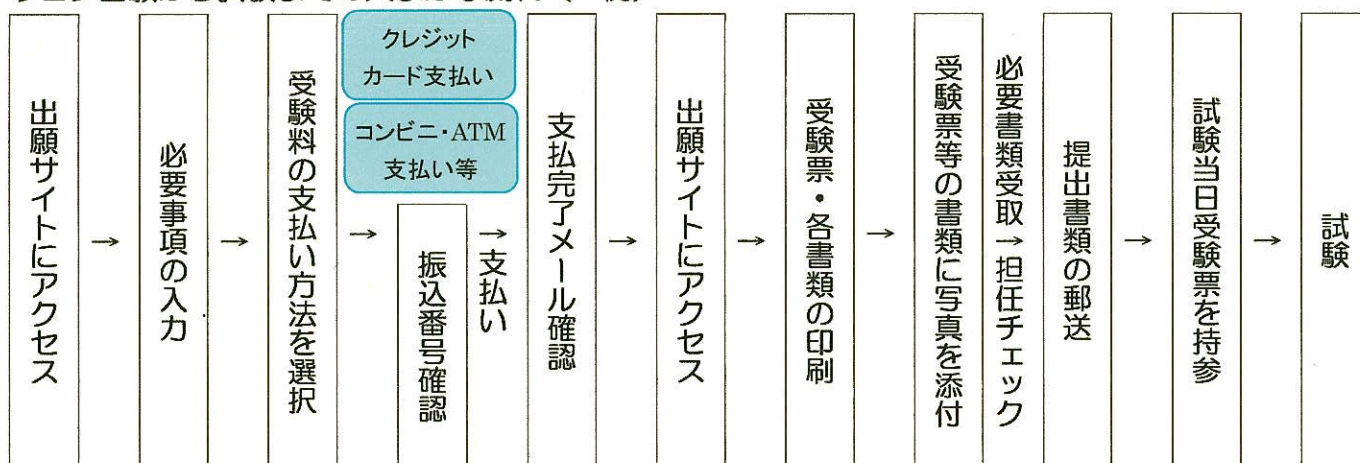
合格した私立高校の諸費用等の納入を、公立高校の発表まで待ってくれる制度です。その際、「延納手続き（書類）」が必要な高校や、「延納金」の納入が必要な高校があります。

「延納手続き」や「延納金の納入」が期日に間に合わなかった場合、合格が取り消されることがありますので、ご注意ください。

（６）私立高校のインターネット出願（ウェブ出願）について

近年、入試における出願方法として、「ウェブ出願」を採用する高校が増えてきました。学校ごとの方法に従い、各自で手続きを進めてください。

ウェブ出願から試験までの大まかな流れ（一例）



ミライコンパスについて

【利用ガイド】



【ログインページ】



(7) 出願書類の準備における注意点

【ミライコンパスの場合】

出願において、「ミライコンパス」を利用する高校が増えてきております。【利用ガイド】をよくお読みいただき、手順に沿って手続きをお願いいたします。

【郵送の場合】

①願書について

- ・私立高校は書式が学校により異なりますので、記入上の注意をよく読んで記入してください。
- ・願書は原則として志願者本人が記入して下さい。
- ・氏名は戸籍と同一の漢字を使用し、楷書でていねいに記入して下さい。
- ・住所、学校名は、県外校の場合「千葉県」から書き、県内校の場合「浦安市」から書きます。
- ・文字は原則として、下書き後、黒インク（ボールペンや万年筆等）で書きます。
※フリクションなどの、熱で消えるペンは使用してはいけません。
- ・願書に添付する写真は、写真屋で証明写真として撮りましょう。
※できた写真の裏面には、中学校名、氏名を記入してから、願書に貼ります。
※撮影の時は、きちんとした身なり（制服・頭髪）で撮りましょう。
※デジタルデータで保管しておきましょう。（CD-R等）

②調査書

- ・公立高校出願用調査書が使用できる場合は、原則公立高校と同じ様式を提出します。
- ・独自の様式が必要な場合は募集要項に入っていることが多いです。事前に担任が預かり作成をして、原則、出願日に担任から生徒に手渡します。
- ・厳封（「緘」の押印）で提出するもので、開封してしまうとその書類は無効になります。

③受験票

- ・もらった受験票と調査書受領書は、すぐに担任へ提出してください。受験票は番号を確認後、返却します。大切に保管し、番号を控えておいてください。
- ・出願準備は、本人が進めましょう。確実に手続きを進める力は、今後、社会生活の中のいろいろな場面で必要になっていきます。

(8) 発表とその後の手続きについて

①発表

- ・結果が分かり次第、可否に関わらず、速やかに担任に報告してください。
- ・発表方法は、各高等学校によって、掲示・WEB・郵送など、さまざまです。
- ・掲示の場合、各高校まで見に行くことになります。

②発表後の手続き

合格の場合

すぐに、入学手続き又は延納手続きをしてください。

＊その私立学校が第一志望ならば、入学金等の納入等の手続きをします。

＊中学校で証明する書類（延納願い証明など）は速やかに担任に提出してください。

＊期間を必ず守り、手続きが完了したら、担任に報告してください。

不合格の場合

すぐに、担任へ報告をして、その後の対応について一緒に考えましょう。

(9) 入試要項・願書の取り寄せと提出

11月14日（金）までに担任へ提出してください。

受験する私立高等学校の入試要項・願書等を学級担任に提出してください。

※高等学校 HP よりダウンロードできる高等学校については、ご家庭で印刷し、学級担任に提出してください。

Ⅶ 千葉県公立高等学校入学者選抜について

◎はじめに

- ①公立高校は、県内・県外を問わず、原則として1校しか受検できません。
- ②入学許可候補（合格）者は、定員数しか出されません。
- ③高校入試の日程上、公立高校の試験は最後に行われます。
- ④入学許可候補（合格）者になりましたら、入学することを原則とします。
- ⑤入学者選抜の方法は様々な種類がありますが、基本的には「一般入学者選抜」です。

昨年度の令和7年度高等学校入学者選抜から、以下に示す点が多くの子・ご家庭に関わる大きな変更点として挙げられます。過去に入試を経験されているご家庭の保護者の方も注意してください。

- ・ 令和7年度高等学校入学者選抜よりインターネット出願の全校実施
→追加募集、秋季入学者選抜及び通信制課程の入学者選抜を除く
- ・ 紙の入学願書一斉配付の廃止
→必要な場合は千葉県教育委員会 HP から印刷、作成する
- ・ 出願書類の提出方法の変更
→本検査におけるインターネット出願においては、中学校から高校に、必要書類をまとめて郵送
詳細は巻末の別紙にて掲載します。

また、公立高等学校では令和3年度より入試が1回となりました。基本的には一度の入試で入学許可候補者を決定していきます。もし、検査日当日にインフルエンザ等にかかるなど、やむを得ない理由により検査をすべて受検できなかった場合は追検査を行う予定となっています。

インターネット出願の御案内

令和8年度千葉県公立高等学校入学者選抜も、全ての公立高等学校において、インターネット出願を実施します。以下の出願概要等に従い、手続を進めてください。なお、追加募集、秋季入学者選抜及び通信制の課程の入学者選抜（三期・四期）を除く、全ての選抜が対象となります。

本検査のインターネット出願概要（中学校に在籍している志願者）



① 志願者情報の登録

●志願する高等学校のウェブページから志願者情報を登録し、中学校に確認してもらう。



② 必要書類を中学校へ提出する

●志願理由書等、必要な書類があれば中学校に提出する。



③ 入学検査料納付

●クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーで検査料を納付する。



④ 中学校が高等学校へ調査書等を郵送する

●中学校が調査書等の必要書類を高等学校へ郵送する。※入学願書は郵送しない。



⑤ 受検票・受理証を印刷する

●マイページから自宅のプリンターやコンビニ等で印刷する。



⑥ 受検

●受検票を持参して受検する。

【注意1】

上記③の納付後は、学校・選抜の種類・課程・学科・部を変更することができませんので、志願先が確定した後に、インターネット出願手続を行ってください。なお、万が一納付後の変更を希望する場合には、出願手続をした志願先に必要書類を送付する等の手続を一旦完了させた後、志願又は希望の変更期間に変更手続を行うことになります。

【注意2】

中学校に在籍していない志願者は、志願者本人が必要書類を志願する高等学校に郵送します。
*実施要項の別記14参照。

【注意3】

やむを得ない理由によりインターネット出願ができない場合は、紙の入学願書で提出してください。ただし、事前に高等学校へ連絡してください。

インターネット出願における顔写真について

インターネット出願では、顔写真のデータをアップロードすることで、出願手続に進めます。その際、以下のことに御注意ください。

【画像について】

顔写真についてはスマートフォン等で撮影した画像も使用できますが、トリミング以外の編集や加工は絶対にしないでください。

- ① 正面上半身脱帽・無背景
- ② 令和7年9月1日以降に撮影したもの
- ③ 正面を向いた志願者本人の顔がはっきり確認できるもの（顔に影がないもの）
- ④ 志願者本人のみが写っているもの
- ⑤ カラー・白黒どちらでも可

【画像データについて】

- ① JPEG 形式、またはPNG 形式の画像データであること
- ② 推奨の画像サイズは縦幅が「600 ピクセル」、横幅が「450 ピクセル」で、縦幅と横幅の比率が「4:3」の割合であること
- ③ 低画質ではないもの（縦幅が「250 ピクセル」以上、横幅が「250 ピクセル」以上であること）
- ④ データのファイルサイズが 3MB までであること

※顔写真データアップロードの詳しい方法は、12月中旬に、各高等学校のウェブページに掲載される「志願者マニュアル」を参考にしてください。

氏名の入力、外字等の有無について

昨年度と異なり、【氏名（漢字は第2水準まで）】の項目は【氏名（本名または通称名）】という項目に変更となります。この項目で入力した氏名が、入学願書や受検票等に表示され、外字等（入力することができない文字）については、「なし」又は「あり」のみを選択することとしました。

なお、入学願書と受検票に記載される氏名と調査書等の氏名の文字の一致を求めません。

また、通称氏名の有無を問う項目を追加し、「あり」を選択した場合は、【氏名（本名または追加情報）】という項目に、本名等を入力します。この場合は、中学校から高等学校への連絡は不要とします。ただし、事情により本名等が入力できない場合は、【氏名に係る追加情報】で「なし」を選択し、中学校から高等学校へ直接連絡をしてください。

自己表現・適性検査等を行う高等学校への事前申告について

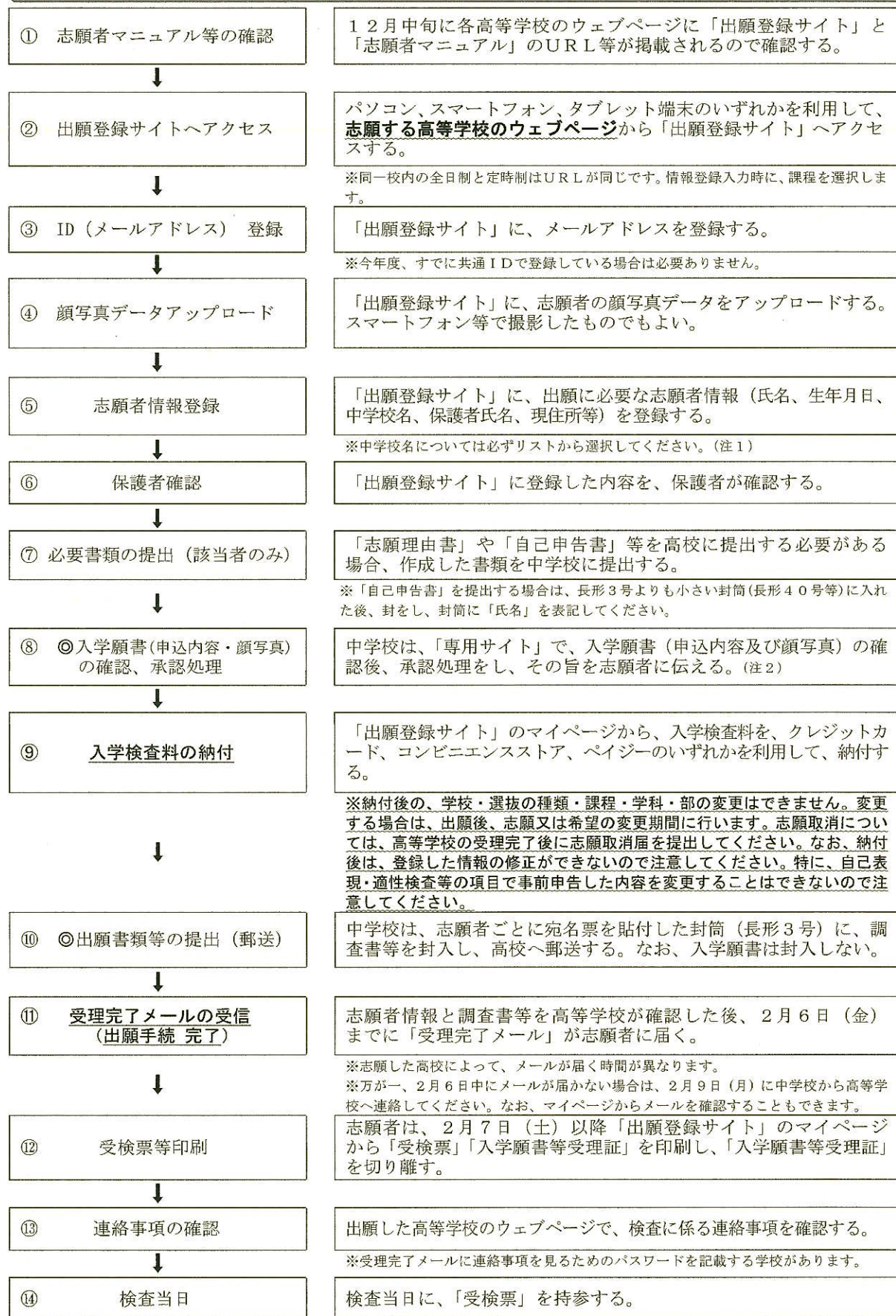
インターネット出願では、出願情報登録時に、自己表現・適性検査における事前申告をします。

なお、今年度から全ての高等学校において、プルダウンによる選択方式となる予定です。

※やむを得ない理由によりインターネット出願ができない場合は、紙で提出する必要があります。

各高等学校のウェブページから事前申告用紙等を印刷してください。

本検査 インターネット出願の流れ（中学校に在籍している志願者） ◎ 中学校が行うこと



【志願者情報登録・入学検査料納付期間】
令和8年1月13日（火）～2月2日（月）

【出願書類等提出期間】
令和8年2月3日（火）～2月5日（木） 正午

（注1）（注2）千葉県内の公立中学校及び茨城県・埼玉県との隣接県協定に基づく隣接学区内の関係中学校のみ。

（注2）承認処理のない中学校に在籍している場合は、志願者情報登録後、納付に進むことができるが、納付前に必ず中学校の先生に申込内容を確認してもらうこと。

インターネット出願 入力内容事前確認用シート

各画面20分でタイムアウトとなります。なお、STEP3で一時保存をすることができ、入学検査料納付前は入力情報の修正が可能です。

※質問項目の1がSTEP1、2～18がSTEP2、19～24がSTEP3です。

志願者情報入力 ※入力方法・内容については、一部変更になる可能性がありますので御注意ください。

質問項目	事前記入欄	例	備考	全角・半角
1 入試区分		(例1) 全日制 一般入学者選抜 (例2) 定時制 外国人特別入学者選抜	プルダウンから選択します。 全日制と定時制がある学校は、注意して選択してください。	
2 氏名 (本名または通称名)	姓： 名：	(例1) 姓：高崎 名：未来 (例2) 姓：COMPASS 名：MIRAI (例3) 姓：こんばす 名：みらい	全角のみ入力可能 常用している氏名 (本名または通称名等) を入力する。入力できない漢字は簡易字体に置き換えて入力する。入学願書・受検票等に表示されます。全角ローマ字が入力できない場合は、ひらがなで入力し、最終項目の【氏名 (本名または追加情報)】の項目を利用する。(半角入力が可能)	全角
3 氏名 (カナ)	姓： 名：	姓：タカサキ 名：ミライ	カタカナでの入力となります。	全角
4 外字等の有無	○なし ○あり	あり	【氏名 (本名または通称名)】の項目で登録できない漢字 (外字等) があり、簡易字体で登録する場合、「あり」を選択する。	
5 生年月日	年 月 日	20〇〇年〇〇月〇〇日	プルダウンから選択します。西暦での表示です。	
6 現住所	郵便番号： 都道府県： 市町村： 町名： 番地・建物・部屋番号：	郵便番号：2610014 都道府県：千葉県 市町村：千葉市美浜区 町名：若葉 番地・建物・部屋番号： 2-13 総合マンション101	郵便番号で住所検索をすると、町名まで表示されます。 番地・建物・部屋番号を忘れずに入力してください。	郵便番号は半角 その他は全角
7 自宅等電話番号		012-345-6789	自宅又は保護者の携帯電話の番号等	半角
8 在籍 (出身) 学校名		【県を選択】 千葉県 【市区町村を選択】 千葉市美浜区 【学校名を選択】 千葉市立未来中学校 【その他の学校】※入力しない	千葉県内の公立中学校及び茨城県・埼玉県との隣接県協定対象地域の中学校は、必ずプルダウンから選んでください。プルダウンの中に学校名がない場合は、「その他の学校」に、「〇〇県〇〇立〇〇中学校」と入力してください。 ※プルダウンから選んだ場合、「その他の学校」には何も入力しないでください。	
9 クラス/組		A	中学校の先生が承認処理をする際に使用します。A、B、Cや1、2、3などを入力してください。全角と半角のどちらでも構いません。	全角・半角
10 在籍卒業区分		在学中 (2026年3月卒業見込み)	プルダウンから選択します。	
11 その他提出書類	☐ 志願理由書 ☐ 自己申告書 ☐ 志願証明書 ☐ 誓約書 ☐ その他	☐ 志願理由書 ☒ 自己申告書 ☐ 志願証明書 ☐ 誓約書 ☐ その他	調査書以外の書類を提出する場合は、チェックを入れます。「その他」にチェックを入れた場合は、次の「必要に応じて提出する書類」の入力欄にその書類等の名称を入力します。	
12 意見聴取制度 (県立のみ)	☐ 同意します。 ☐ 同意しません。	☒ 同意します。 ☐ 同意しません。	自身の選抜に関する資料について、意見聴取制度を活用することに同意するかしないかのどちらかを選択します。	
13 氏名に係る追加情報	☐ あり ☐ なし	あり	下記①又は②に該当する志願者は「あり」を選択してください。なお、簡易字体で入力した志願者は「なし」を選択してください。 ①【氏名 (本名または通称名)】の項目で通称名を入力した志願者 ※事情により、本名を入力しない場合は、「なし」を選択し、中学校から高等学校へ連絡してください。 ②ローマ字が氏名の正式表記であるものの、ひらがなで氏名を入力した志願者	
14 氏名 (本名または追加情報)		(例) MIRAI AI COMPASS	氏名に係る追加情報で「あり」を選択した場合、本名または追加情報を入力します。姓と名には分かれておりません。 ※半角ローマ字も入力可能です。	全角・半角

保護者情報入力 ※入力方法・内容については、一部変更になる可能性がありますので御注意ください。

質問項目	事前記入欄	例	備考	全角・半角
15 保護者氏名	姓： 名：	姓：高崎 名：薫	外字は簡易字体に置き換えて入力してください。外字は入学手続きの中で反映します。全角ローマ字が入力できない場合は、ひらがなで入力してください。	全角
16 保護者氏名(カナ)	姓： 名：	姓：タカサキ 名：カオル	カタカナでの入力となります。	全角
17 現住所	☐ 志願者と同じ住所の場合はチェック 郵便番号： 都道府県： 市町村： 町名： 番地・建物・部屋番号：	☒ 志願者と同じ住所の場合はチェック 郵便番号：2610014 都道府県：千葉県 市町村：千葉市美浜区 町名：若葉 番地・建物・部屋番号： 2-13 総合マンション101	「志願者と同じ住所の場合はチェック」に、チェックを入れると、志願者の現住所と同じ住所が表示されます。保護者と同居していない場合のみ、郵便番号から入力してください。	郵便番号は半角 その他は全角
18 緊急連絡先		091-7654-3210	緊急連絡先は、原則として、検査当日に連絡のとれる電話番号とします。	半角

検査選択 ※入力方法・内容については、一部変更になる可能性がありますので御注意ください。

質問項目	事前記入欄	例	備考	全角・半角
19 検査日		2月17日, 18日	検査日をプルダウンから選択します。	
20 志望学科 (第1希望)		(例1) (例2) 第1希望：普通科 普通科 午前部	第1希望の学科をプルダウンから選択します。	
21 ○○科 自己表現・適性検査の事前申告		(例1) (例2) 野球 なし	自己表現・適性検査が設定されている学校・学科で、事前申告がある場合は、次のプルダウンから希望する項目を選択してください。自己表現・適性検査が設定されていない学校・学科または自己表現・適性検査が設定されているが、事前申告がない学校・学科については、「なし」の選択肢のみ表示されます。	
22 第2希望 (第3希望)	第2希望： (第3希望)：	(例1) (例2) 第2希望：理数科 普通科 午後部 (第3希望)： 普通科 夜間部	第2希望の学科をプルダウンから選択します。(2つ以上の学科・部がある場合のみ表示されます。)希望がない場合は、「なし」を選択します。三部制の定時制の場合は、第3希望まで部を選択することができます。	
23 他の公立高等学校を併願していませんか。		併願していません。	他の公立高等学校を併願していないことを確認します。 ※プルダウン方式による選択となっており、選択肢は「併願していません。」のみとなっています。	
24 入力内容について、事実と相違がないことを保護者が確認しましたか。		確認しました。	入力内容について、事実と相違がないことを保護者が確認します。 ※プルダウン方式による選択となっており、選択肢は「確認しました。」のみとなっています。 ※STEP2の最後にも、同じ質問項目があります。	

※市立高等学校への出願の場合は、入力内容が異なる場合があります。

(1) 期待する生徒像

各高等学校が別に定める。志願を考えている千葉県公立高等学校のHPを、必ず確認するようにしてください。

(2) 実施する課程、学科、募集人員

- ①実施する課程 …… 全日制の課程及び定時制の課程
- ②実施する学科 …… すべての学科
- ③募集人員 …… 募集定員の全部

(3) 一般入学者選抜の出願書類

●千葉県公立高等学校を受検する者全員が提出する書類

入学願書	出願登録サイトにおいて、所要事項を入力すること。詳細は、「インターネット出願志願者マニュアル」(各高等学校のウェブページに12月下旬頃掲載予定)に定める。また、入力した内容のデータは、志願校へ直接提出されるため送付不要。 ※インターネット出願ができない場合は、担任に相談してください
調査書	・中学校で作成したものを厳封のまま、提出します。

●入学検査料一覧表

インターネット出願になったことにより、基本的には収入証紙の購入は不要になります。出願登録サイトより、クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーのいずれかを利用して納付することになります。

市立高等学校については、以下の表でご確認ください。

志願する高等学校及び課程		入学検査料
県立高等学校	全日制の課程	インターネット出願の方法により 2,200円 ※上記でない場合は、県収入証紙による。
	定時制の課程	インターネット出願の方法により 950円
	通信制の課程	※上記でない場合は、県収入証紙による。
千葉市立千葉高等学校	全日制の課程	インターネット出願の方法により 2,200円 ※上記でない場合は、千葉市の納付書による。
習志野市立習志野高等学校	全日制の課程	インターネット出願の方法により 2,200円 ※上記でない場合は、習志野市の納付書による。
船橋市立船橋高等学校	全日制の課程	インターネット出願の方法により 2,200円 ※上記でない場合は、現金による。
松戸市立松戸高等学校	全日制の課程	インターネット出願の方法により 2,200円 ※上記でない場合は、松戸市の納付書による。
柏市立柏高等学校	全日制の課程	インターネット出願の方法により 2,200円 ※上記でない場合は、現金による。
銚子市立銚子高等学校	全日制の課程	インターネット出願の方法により 2,200円 ※上記でない場合は、銚子市の納付書による。

※インターネット出願ができない場合は、県収入証紙。千葉市、習志野市、松戸市、柏市の市立高校を受検する場合は、それぞれの市の納付書(船橋市立船橋高等学校は現金)が必要になります。

各自でご用意ください。

インターネット出願による、志願者情報の登録及び入学検査料の納付期間

令和8年1月13日（火）から2月2日（月）まで（土日・祝日を含む、24 時間登録可能。）

詳細はP13～P17

志願者情報の登録及び入学検査料の納付方法

志願者は、次の①～④の手続を行う。

①志願する高等学校のウェブページの出願登録サイトから志願者情報を登録する。

②必要に応じて、別途出願に要する書類（「志願理由書」、「千葉県立高等学校入学志願証明書」等）を中学校長に提出する。

志願理由書	・ 志願する高等学校が、学科ごとに、提出を求める場合は作成すること。
自己申告書	「障害又は病気、怪我等の状況について志願校に申告しようとする」者は、所定の様式で作成し提出することができる。なお、原則として志願者本人が記入し、封をした上で、在籍中学校の校長に提出することを報告した後、提出する。

③中学校長の承認処理を受ける。

④中学校長の承認処理終了後、入学検査料を納付する。

なお、一旦納付された入学検査料は払戻しできないので注意すること。

また、納付後に出願先や学科等を変更する場合は、一旦志願者情報の登録及び入学検査料の納付を行った高等学校へ出願書類等を提出後、「第3志願又は希望の変更」により、変更すること。

（4）出願書類等の提出期間及び受付時間

令和8年2月 3日（火）	午前9時から午後4時30分まで
4日（水）	午前9時から午後4時30分まで
5日（木）	午前9時から正午まで

※インターネットによる出願および中学校から必要書類の郵送により、直接向かうことはありません。

（5）志願または希望の変更

志願または希望の変更をいずれか1度行うことができます。

「志願の変更」とは、受検する高等学校を変更すること。

「希望の変更」とは、同一高校の中で学科等を変更することです。

変更する際には書類の作成等が必要になります。急な対応は難しい場合がありますので、少しでも変更の可能性がある場合は、必ず事前に、担任に相談をするようにしてください。

令和8年2月10日（火）	午前9時から午後4時30分まで
12日（木）	午前9時から午後4時まで

※送付の場合、2月12日（木）午後4時までに必着とする。

※インターネット出願による志願又は希望の変更については、11月頃、詳細をお知らせします。

(6) 本検査

- ① 検査期日…令和8年2月17日（火）及び2月18日（水）
- ② 検査場所…志願した高等学校
- ③ 学力検査等の内容

	検査の内容		時間・配点
第1日	【学力検査】国語・数学・英語	国語の問題は、放送による聞き取り検査を含む。英語の問題は、放送によるリスニングテストを含む。	国語・数学は50分 英語は60分 各教科100点
第2日	【学力検査】理科・社会		各教科50分 各教科100点
	【各高等学校が定める検査】	各高等学校において、面接、集団討論、自己表現、作文、適性検査、学校独自問題及びその他の検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施する。	検査の時間等については、各高等学校が定める。

④ 検査時間割

第1日		第2日	
9:30	集合	9:30	集合
9:30 ~ 9:50	受付・点呼	9:30 ~ 9:50	受付・点呼
9:50 ~ 10:05	注意事項伝達	9:50 ~ 10:05	注意事項伝達
10:20 ~ 11:10	国語	10:20 ~ 11:10	理科
11:40 ~ 12:30	数学	11:40 ~ 12:30	社会
12:30 ~ 13:15	昼食・休憩	12:30 ~ 13:15	昼食・休憩
13:25 ~ 14:25	英語	13:25 ~	※ 学校設定検査
14:40 ~	※ 学校設定検査		

⑤ 受検者心得

- ア：受検票を必ず持参すること。
- イ：当日、午前9時30分までに志願した高等学校に集合すること。
- ウ：筆記用具
- ・鉛筆（シャープペンシル可）
 - ・消しゴム
 - ・三角定規一組（角度の目盛りのないもの。直定規は不可）
 - ・コンパス
- エ：弁当
- オ：上履き
- カ：時計を携帯する場合は、時計機能のみのものであること。
- キ：スマートフォン等の電子機器類は、検査室に持ち込まないこと。（控室が検査室になる高等学校においては、検査監督者の指示に従うこと）
- ク：検査室内では、物の貸借はしないこと。
- ケ：携帯品、その他留意事項については、各高等学校において実施する検査の内容により別に定めた指示に従うこと。
- ※下敷きは、持参しないこと。シャープペンのケースは机の上に置いておかないように。

(7) 選抜方法

中学校の校長から送付された調査書等の書類の審査、学力検査の成績及び各高等学校において実施した検査の結果を資料とし、各高等学校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して入学者の選抜を行うものとする。

・高等学校が、学科ごとに、志願者に志願理由書の提出を求めた場合には、これを選抜のための資料に加えるものとする。

・「障害又は病気、怪我等の状況等」について説明するために、志願者から自己申告書が提出された場合には、これを選抜の資料に加えることができる。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることのないよう十分に留意する。

(8) 追検査

①受検資格

インフルエンザやコロナウィルス感染症による急な発熱で別室での受検も困難である等、やむを得ない理由により本検査を全部又は一部受検することができなかった者のうち、定める手続きにより、志願する高等学校の校長に承認を受けた者を対象とする。本検査を一部でも受検した者は、追検査を受検することができない。

②追検査受検願等の提出期間及び受付時間

令和8年2月20日（金）	午前9時から午後4時30分まで
2月24日（火）	午前9時から正午まで

※送付の場合、2月24日（火）午後4時までに必着とする。

③検査期日 ……令和8年2月26日（木）

④検査場所 ……志願した高等学校

⑤学力検査等の内容…本検査と基本的に同じではあるが、別の問題です。

(9) 入学許可候補者の発表及び選抜結果の通知

選抜結果については、本検査及び追検査の結果を併せて、高等学校の校長が、

令和8年3月3日（火）午前9時に各高等学校において掲示により入学許可候補者の受検番号を発表する。

また、選抜結果を志願者本人あて通知する。（※）なお、午前9時に入学許可候補者の受検番号を千葉県教育委員会の特設ウェブサイトに掲載する。

(10) 第2学区外に転居予定で、公立高等学校の受検を考えている場合

- ・手続きが必要となりますので、わかり次第すぐに担任にお知らせください。さらに、他の都道府県に転居する場合は、ご家庭の責任で先方の教育委員会に連絡を取る必要があります。
- ・転居の場合には、手続きの仕方によって受検ができない場合が起こってきます。必ず、担任に早めに連絡ください。

(11) 第2次募集について（全日制及び定時制）

※全日制・定時制ともに、入学許可候補者が募集定員に満たない場合、第2次募集を行う。
詳細は各学級担任に問い合わせください。

※出願条件

- 公立高等学校の入学許可候補者になっていない者
- 千葉県内の私立高等学校の入学許可候補者のうち、当該高等学校の校長から応募してよい旨の承認を得ている者

インターネット出願による、志願者情報の登録及び入学検査料の納付期間

令和8年3月3日（火）午後4時から3月5日（木）まで

出願書類等の提出 ※原則持参	令和8年3月 7日（金）午前9時～午後4時30分
志願又は希望の変更	令和8年3月 9日（月）午前9時～午後4時30分
検査の実施	令和8年3月11日（水）午前9時30分集合
入学許可候補者の発表 及び選抜結果の通知	令和8年3月13日（金）午前9時～
追加募集	令和8年3月25日（水）又は26日（木）

(12) その他

千葉県教育委員会では、中学生や学校関係者をはじめ、広く県民などが参照しやすいよう、各県立高等学校の校則の掲載先の一覧を作成しました。

千葉県立高等学校における「校則（生徒指導規程）」一覧 QR



Ⅷ 千葉県公立学校選抜方法の詳細

ア 基本的選抜方法（令和7年度入試では、全日制全体の約90%がこの方法で選抜をおこないました。）
「千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項」には、次のように定められています。

- ・中学校の校長から送付された調査書等の書類の審査、学力検査の成績及び学校設定検査の結果を選抜の資料とし、各高等学校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して入学者の選抜を行うものとする。
- ・調査書の必修教科の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項、学力検査の成績、学校設定検査の結果等の選抜の資料は原則として得点（数値）化するものとし、選抜のための各資料の得点を合計した「総合点」に基づき総合的に判定する。選抜の資料の配点は各高等学校において別に定める。
- ・各高等学校の選抜の手順、選抜のための各資料の項目及び配点等を定めた「選抜・評価方法」は、各高等学校のウェブページに掲載する。

上記の文章より、選抜は次の4つの資料で行われます。それぞれを数値化し、合計した「総得点」に基づいて合否を決めます。

【学力検査の成績】

【調査書中の必修教科の全学年の評定合計値】

【調査書中の記載事項】

【学校設定検査の結果】

それぞれの選抜資料は、学校・学科の特色や相対的なバランスも考慮し、次のように定められています。但し、市立高等学校においては、当該市教育委員会が定めるところによります。

●【学力検査の成績】

学力検査を実施した各教科の得点を合計し、「学力検査の得点」とします。5教科を実施した場合は、各教科100点ですので、基本的には500点満点となります。但し、「理数に関する学科」、「国際関係に関する学科」については、特定の教科を1.5倍又は2倍した値をその教科の得点とみなすことができます。

特定の教科	「理数に関する学科」…数学及び理科	「国際関係に関する学科」…英語
-------	-------------------	-----------------

また、三部制の定時制の課程で学力検査を5教科で実施した場合、5教科のうち、志願者が出願時に申告した3教科の得点を1～3倍した値をそれぞれの教科の得点とみなすことができます。

●【調査書中の必修教科の全学年の評定合計値】

調査書の教科の学習の記録における、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語（外国語については、必修及び全ての生徒が共通に履修するもの、現実的には英語）の評定の全学年の合計値（135点満点、45点×3年間）について、各高等学校が定めるKの数値を乗じ「調査書の得点」とします。

Kの数値は、原則として1とし、各高等学校において学校の特色に応じて0.5以上2以下の範囲内で定めます。

調査書の得点	=	必修教科の全学年の評定合計値（135点満点）	×	K（0.5～2、原則1）
--------	---	------------------------	---	--------------

●【調査書中の記載事項】

調査書中の記載事項（部活動、生徒会活動、資格など）について、各高等学校は学校の特色に応じて50点を上限として、上記の「調査書の得点」に加点することができます。

●【学校設定検査の結果】

「学校設定検査の得点」の配点は、各高等学校が設定した検査数により決められています。

設定した検査数が1つの場合………100点以上100点以下

設定した検査数が2つ以上の場合…合計得点の上限150点

※専門学科において適性検査を2つ以上実施し、さらに面接を実施する場合には、面接の配点は50点を上限とし、かつ学校設定検査の合計得点は200点を超えないものとします。また、学校設定検査を「その他の検査のうちの県が作成した思考力を問う問題」にした場合の配点は、100点とします。

基本的選抜方法

学力検査	調査書中の		学校設定検査	総得点
	全学年の評定合計値	記載事項		
100×5教科 500点 理数に関する学科 (数学・理科) 国際関係に関する学科 (英語) 1.5倍又は2倍可 ○○○点	135点 × K K=0.5~2 原則1 △△△点	0~50点 県大会出場など 英検・漢検など 生徒会役員など □□点	1検査…10点~100点 2検査以上…上限150点 *適性検査2つ以上 +面接実施の場合 面接50点まで 合計得点の上限は200点 ◇◇点	◎◎◎点

イ 2段階による選抜方法（令和7年度入試では、全日制の約10%がこの選抜方法を導入しました。）

一般入学者選抜では、上記の「基本的選抜方法」に加えて各高等学校の特色を重視した選抜を行う、といった2段階での選抜を行うことができます。2段階での選抜を行う場合は、2段階目で選抜する人数は、募集人員の20%以下としなければなりません。

令和6年度入試で「2段階による選抜方法」を導入した学校・学科（15校19学科）

学校名	学科名	学校名	学科名	学校名	学科名
千葉	普通	松戸六実	普通	大原	総合学科
若松	普通	四街道	普通	安房	普通
幕張総合	総合学科	佐原	普通・理数	木更津	普通・理数
市立習志野	普通	東金商業	商業・情報処理	君津	普通
市立船橋	普通	一宮商業	商業・情報処理	京葉	普通
市立松戸	普通				

2段階目の選抜では、1段階目の基本的選抜方法で得点（数値）化した【学力検査の成績】、【調査書中の全学年の評定合計値】、【調査書中の記載事項】及び【学校設定検査の結果】に、次のk1、k2、k3又はk4の数値を乗じた得点を、選抜の資料とすることができます。

- k1 … 調査書中の全学年の評定合計値にKを乗じた数値に乘じる係数
- k2 … 調査書中の記載事項の加点に乘じる係数
- k3 … 学校設定検査の得点に乘じる係数
- k4 … 学力検査の得点（特定教科の傾斜配点も含む）に乘じる係数

k1、k2及びk3の数値は、それぞれ1以上とし、各高等学校が定めます。またk1、k2及びk3を乗じた後の各資料の配点は、「基本的選抜方法」のそれぞれの上限を超えないものとします。また、k4の数値については、1以上1.5以下とします。

調査書中の全学年の評定合計値の上限…Kの数値が2の場合の270点
 調査書中の記載事項の上限………50点
 学校設定検査の得点の上限………1検査の場合100点、2検査以上の場合150点
 適性検査2つ以上+面接の場合200点

Ⅸ 具体的な志望校の受験方法（例）

（１）公立高校が第１志望の場合（例）

希望順位	学校名	入試制度	注意点
第１希望	公立 A 高校	一般入学者選抜	
第２希望	私立 B 高校	併願推薦	

希望順位	学校名	入試制度	注意点
第１希望	公立 A 高校	一般入学者選抜	第２希望以下でも併願推薦できる私立高校
第２希望	私立 B 高校	一般	
第３希望	私立 C 高校	併願推薦	

（２）私立高校が第１志望の場合（例）

希望順位	学校名	入試制度	注意点
第１希望	私立 A 高校	一般	私立 A 高校合格後、公立 B 高校の志願取消届提出を行う。 ※私立 A 高校の合格発表が公立 B 高校の出願より遅く、受験日等より早い場合も可。
第２希望	公立 B 高校	一般入学者選抜	
第３希望	私立 C 高校	併願推薦	

希望順位	学校名	入試制度	注意点
第１希望	私立 A 高校	単願推薦	本来、推薦は原則各自１校までだが、第１希望の私立 A 高校の単願推薦に倍率があるため、併願推薦が可となっている。
第２希望	私立 C 高校	併願推薦	

（３）私立高校（推薦）が第１志望の場合（例）

希望順位	学校名	入試制度	注意点
第１希望	私立 A 高校	単願推薦	本来、推薦は原則各自１校までだが、第１希望の私立 A 高校の単願推薦に倍率があるため、併願推薦が可となっている。
第２希望	私立 C 高校	併願推薦	

※第２希望の C 高校を決めるにあたり、

１学期・前期の成績を参考に、複数校や複数コースを想定して計画してください。

- （例）成績が上がる → 〈私立 C 高校〉
 成績が変わらない → 〈私立 D 高校 特進コース〉
 成績が下がる → 〈私立 D 高校 進学コース〉

資料 1

個人成績記録票 見本

浦安市立明海中学校

3 -	ふりがな	性別	学籍の記録	平成 (令和) 5 年 4 月	入学・転入学・編入
	氏 名			平成 (令和) 8 年 3 月	卒業見込み・卒業

評 定

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	合計
第 1 学年	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
第 2 学年	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
第 3 学年	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

確認 1・2 年生の 3 学期の通知表にある学年末評定を記載しています。

特別活動の記録

学級活動	保健体育係(1・2 年) 国語係(2 年) 班長(1・2 年)	確認 旅行行事の係は記載しません。 ※実行委員は記載されます。
生徒会活動	保健委員(1・2 年)委員長(2 年)	
学校行事	合唱祭実行委員(1 年)	

部活動の記録

部活動の記録	文化総合部(1～3 年)	確認 部活動のみ、3 年生まで活動したものと記載しています。
--------	--------------	--------------------------------

特記事項

特記事項	令和 6 年度小中高校席書大会金賞 運動能力証(2 年) 英語検定 3 級
------	---------------------------------------

確認 「令和○年度」、「第○回」と記載がある場合は、最後に(○年)とは記載しません。特記事項欄、部活動の記録欄に表彰が収まらない場合は、担任の先生や顧問の先生と相談し、優先順位をつけ記載します。※これから 3 年生の表彰も増えるので、今回は記載が間違っていないか・表彰されたものが記載されているか等の確認をお願いします。

出欠の記録

学年	欠席日数	欠席の主な理由等
第 1 学年	/	/
第 2 学年	/	皆勤
第 3 学年	/	/

確認 欠席がない場合の「欠席の主な理由等」には、皆勤または、/(斜線)と明記。遅刻・早退がない場合は、皆勤となる。

第 3 学年の欠席日数に関しては、今回は確認不要です。

日数

本書の記載事項を確認しました。

令和 年 月 日 保護者氏名 _____ ㊞

